

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	料金徴収事業						担当部	水道部
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	料金課
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	収納係
	総合計画 分野別計 画	主目的	5 都市基盤		24 水の供給		4 料金収入を確保する		
		副目的	24-3						
	予算区分	款	1	項	1	目	3	大	中
	根拠法令・個別計画	小牧市水道事業会計規程、小牧市水道事業給水条例、小牧市水道事業給水条例施行規則							
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営		<input type="checkbox"/> 地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託			
		指定管理・外郭団体		名称:					
		NPO・その他		名称:					
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	口座振替を推進し、料金収入の安定確保を図る。								
内容 (手段)	<p>新規開栓者(使用者)へ「口座振替依頼書」を当初納付書に同封する。また、銀行等の直接納付者へも「口座振替依頼書」を年1回納付書に同封して一斉発送する。そして、手続きに行けない人のために、返信用封筒も同封している。</p> <p>上記以外の業務内容</p> <p>徴収事務: 納付書・督促状・催告書・口座振替不能納付書等の発送、 滞納整理・給水停止・不納欠損等事務、</p> <p>検針事務: 量水器の検針・新設・変更入力、検針前後のPOT処理、 水道の中止・開栓業務、 集合住宅集中検針契約・共同住宅共用申請契約等事務等、</p> <p>一般事務: 口座振替入力・還付・充当・漏水軽減事務、 廃止・使用者異動届・譲渡届入力、 窓口納付収納データ消込・コンビニ収納データ取込送付等、</p>								
受益者負担		内容							

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	65,463	55,705	58,131	
		正職員	従事者数	人	8.00	7.00	6.00
			人件費	千円	42,920	37,555	32,190
		その他職員	従事者数	人	7.00	8.00	9.00
			人件費	千円	9,889	12,648	15,474
		費用合計		千円	118,272	105,908	105,795
	対前年比		%		89.5		
財源	一般財源	千円	118,272	105,908	105,795		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		績	口座振替推進用依頼送付		回	目標	—
実績	1					1	
新規開栓者への口座振替依頼書の送付			件	目標	—	—	4,200
				実績	4,298	4,100	
市内の直納納付書送付者に、年1回、口座振替依頼書の送付				目標	—	—	8,900
				実績	8,638	8,855	
成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
	水道料金の口座振替率	%	目標	76	76	76	
実績			75	75			
水道料金の収納率(3月末)	%	目標	90	90	90		
		実績	89	89			

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	平成22年度新規開栓者のうち新規口座振替件数1,605件 平成22年度の開栓7,952件、中止8,052件あり。 中止による口座振替解除の件数があるため、新規口座振替件数分の増にならない。		
	事業を廃止・休止したときの影響	新規開栓者から口座振替依頼に関する問い合わせの増加に伴い、事務の煩雑化(用紙を送ったか否かの情報の入力等)になる。また、口座振替の開始時期の遅れにより、直納納付書送付等の経費増になる。		
	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	振替不納の状況等の把握により、徴収員の活用を図り、振替不納率の減を目指し経費節減を図る。		
今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	ただ単に、口座振替加入率の増加だけではなく、残高不足により長期にわたり口座振替不納になっている使用者は、口座振替を解除して、振替不納納付書の送付に伴う経費(現在、振替不納用納付書を作成していないため、封書にて手作業で直納納付書と振替不納の通知書を同封している。)を削減する。			

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	一次評価のとおり		